








インフルエンザの治療を受けられる患者様へ

かとう小児科

	初診日	翌日以降
月日	月 日 ()	
お薬	抗インフルエンザ薬()が1日()回()日間で吸入・内服、他の薬は1日()回()日間で内服して下さい。 熱性けいれんを起こしたお子様には抗けいれん坐薬(ダイアップ)が処方されますが、1回目使用後8時間後に2回目を必ず使用して下さい。(熱さましの坐薬はダイアップ挿入後30分はあけて使用して下さい。)	
診察	インフルエンザの疑いのある方は、別室でお待ちいただくことがあります。 	平熱になってから2~3日を経過しているか、今回処方されたお薬が飲み終わる頃。(その他何か心配な時は電話又は来院して下さい。)  熱が下がらずに再診された方は、他の方への感染を防ぐためにも別室でお待ちいただきますので、受付に申し出てください。
検査	受診された時に必要に応じてインフルエンザウイルス抗原キットで行います。 検査を受けられた方 → 結果はインフルエンザ(A・B)でした。	
経過	1~3日の潜伏期の後、悪寒、発熱、全身倦怠感、頭痛、関節痛などの強い全身症状を伴って、急激に発症します。	咳、鼻水などの呼吸器症状が出現してきます。最高体温は39~40度で、2~3日間持続し、長くても5日間で解熱します。一旦下がった熱が再び上昇する(二峰性発熱)ことが時折見られますが、あわてないで下さい。
食事	水分とビタミンをたくさんとる様に心がけ、消化吸収の良いもの。食欲がなくなりますが、水分はしっかりとって下さい。 お茶、ジュース、スープなど飲みたいもので結構です。	
入浴	発熱している間は、体力の低下を防ぐためにも避けて下さい。	平熱に戻り、体力が回復してから。 
登園・登校のめやす	出席停止扱いになります ので、園や学校へ連絡して下さい。	登園、登校基準は、発症後5日かつ、小学校に入学前のお子さん は、平熱を3日間経過してから、 小学生以上は、平熱を2日間経過してから になっています。治癒証明書が必要な方は、園や学校所定の用紙をこの時持ってきて下さい。
その他	注意 A型インフルエンザと、ボルタレン、ポンタール、B型インフルエンザと、アスピリンという解熱剤の組み合わせで、インフルエンザ脳症や、ライ症候群という重症疾患を発症する可能性が高いことがわかってきました。 インフルエンザが疑われる時は、使わないで下さい。	